

LAN DISK Home
HDL2-G シリーズ
Mac OS

セットアップガイド

本紙をお読みになる前に、別紙「必ずお読みください」もご覧ください。
Windowsから設定する場合は、別紙「Windows セットアップガイド」をご覧ください。

ネットワークに導入する

1 ネットワークを確認

ネットワーク内のパソコン、ルーター、アクセスポイントなどが正常に動作していることを確認してください。

2 ネットワークにつなぐ

本製品背面のLANポートに添付のLANケーブルを接続し、もう一方をパソコンやハブ(ルーター)などのネットワーク機器に接続します。

▼本製品背面下部



注意 ●必ずLANケーブルを先に接続してください。
LANケーブルを接続する前に本製品の電源を入ると、正しくネットワークに参加できなくなります。

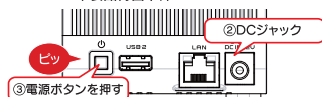
3 電源を入れる

1 添付の「電源ケーブル」を「ACアダプター」に接続します。

2 ACアダプターを本製品背面の[DCジャック]につなぎ、電源ケーブルを電源コンセントにつなぎます。

3 本製品背面の電源ボタンを押します。
「ビッ」と音が鳴り[STATUS]ランプが緑色に点滅します。
起動が完了すると、「ピー」と音が鳴ります。

▼本製品背面下部



注意 ●動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源ケーブルを抜いたり、スイッチ付きACタップのスイッチをOFFにするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、裏面をご覧ください。

本製品の設定をする(設定画面を開く)

1 パソコンを起動し、添付DVDをセットします。



2 表示されたDVDアイコンを開き、
[スタート画面.DMG]をダブルクリックします。



3 表示された画面内の[Magical Finder]アイコンをダブルクリックします。



4 自動で本製品が検索されます。
本製品の[STATUS]ランプの色を確認してください。

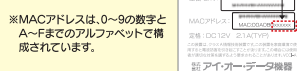


? 本製品が見つからない場合は...

- 30秒ほど待ってから、「情報の更新」ボタンをクリックしてください。
- セキュリティ関連のソフトウェアのファイアウォール機能を一部解除すると動作する場合があります。一時的にセキュリティ機能を解除してご確認ください。詳しくはセキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- 本製品が正しくネットワークに接続されていることをご確認ください。

●[LANDISK]の名前について

本製品は、出荷時設定として製品ごとに[LANDISK-xxxxxx]の名前が設定されています。
MACアドレスは、本製品底面のシールに記載されています。



[STATUS]ランプが赤く点滅している

[IP設定]ボタンをクリックします。



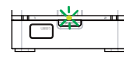
5 へお進みください。

注意 ネットワーク内にDHCPサーバーがない場合、[STATUS]ランプは赤く点滅します。

ネットワーク内にDHCPサーバーがあるのに点滅している場合は、以下の手順にしたがってください。
①いったん、本製品の「電源」ボタンを押して本製品の電源を切ります。
((電源を切るときは...)参照)
②DHCPサーバーが正しく動作していること、本製品とネットワーク機器がLANケーブルで正しく接続されていることを確認します。
③「電源」ボタンを押して、再度本製品の電源を入れます。
※DHCPサーバーがあるかどうかの確認方法については、別紙「必ずお読みください」裏面の「パソコンのIPアドレス」の項をご覧ください。

[STATUS]ランプが緑色で点灯している

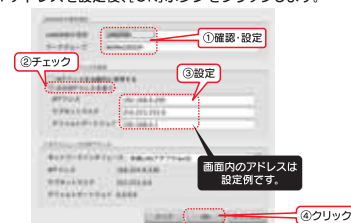
6 へお進みください。



5 何も入力せずに[OK]ボタンをクリックします。



6 [LANDISKの名前][ワークグループ]を確認後、お使いのネットワークに合わせたIPアドレスを設定後、[OK]ボタンをクリックします。



LANDISK の名前	ネットワーク上(「マイネットワーク」あるいは「ネットワークコンピュータ」など)に表示される本製品の名称です。 ※変更する場合は、必ずメモしてください。 ※数字やハイフン(-)で始まる名称は使用できません。
ワークグループ	「ワークグループ」はパソコンの「ワークグループ名」と同じものを入力します。(パソコンのワークグループ名を確認してください)。 ただし、ワークグループの名前が一致していない場合でも本製品にアクセスすることは可能です。
IPアドレス	画面下の「■」このコンピュータのIPアドレス」内の「IPアドレス」を参考に、末尾の値がパソコンや他のネットワーク機器と重複しない値に設定します。
サブネットマスク	画面下の「■」このコンピュータのIPアドレス」内の「サブネットマスク」と同じ値を設定します。
デフォルトゲートウェイ	画面下の「■」このコンピュータのIPアドレス」内の「デフォルトゲートウェイ」と同じ値を設定します。 ※値が表示されていない場合は設定を空欄にします。

- 本製品のIPアドレスは、設定用/パソコンのIPアドレスと同じサブネット上に設定してください。
- 設定用/パソコンのIPアドレスの確認方法は、別紙「必ずお読みください」裏面の「パソコンのIPアドレス」もご覧ください。

7 [OK]ボタンをクリックします。



8 4の画面に戻りますので、「ブラウザ」ボタンをクリックします。
以下(右)の画面が表示されますので、何も入力せず[ログイン]ボタンをクリックします。



注意 右の画面が表示された場合は、本製品に設定されている時刻と実際の時刻にズレがあります。設定画面から時刻設定を行ってください。

9 本製品の設定画面が開きますので、「[はじめて設定]」をクリックして、画面の指示にしたがって設定してください。
設定が完了したら、[本製品にアクセスする]へお進みください。



本製品にアクセスする

●[LANDISK]の名前について

本製品は、出荷時設定として製品ごとに[LANDISK-xxxxxx]の名前が設定されています。
xxxxxxは、MACアドレスの下6桁です。
MACアドレスは、本製品底面のシールに記載されています。

※MACアドレスは、0～9の数字とA～Fまでのアルファベットで構成されています。



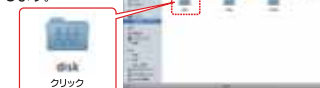
Mac OS X (10.5) の場合

1 画面下のFinderを開きます。
[共有]に本製品(landisk-xxxxxx)が表示されていることを確認し、クリックします。



注意 ●xxxxxxは、MACアドレスの下6桁です。確認方法は上記【参考】をご覧ください。
※本製品の[LANDISK]の名前を変更した場合は、変更した名前を開いてください。

2 [disk]をクリックします。



以上で本製品には正常にアクセスできています。
新規に共有を作成し、②の画面で作成した共有を選択することで、ネットワークのフォルダとして使用できます。

Mac OS X (10.4) の場合

1 画面下のFinderを開き、[ネットワーク]をクリックします。
しばらくすると、[Local]アイコン(または[My Network]アイコン)が表示されますので、ダブルクリックします。



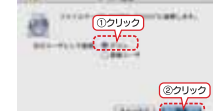
2 [landisk-xxxxxx]をダブルクリックします。

※xxxxxxは、MACアドレスの下6桁です。確認方法は上記【参考】をご覧ください。
※本製品の[LANDISK]の名前を変更した場合は、変更した名前をダブルクリックしてください。



注意 ●[landisk-xxxxxx]が表示されない
→裏面「困ったときには...」をご覧ください。

3 [ゲスト]を選択し、[接続]をクリックします。



4 [disk]を選択し、[OK]をクリックします。



5 デスクトップ上に本製品の共有フォルダ([disk])がマウントされます。



正常にアイコンが表示されました。本製品をネットワークのフォルダとして使用できます。

RAIDモードを変更する

本製品のディスク構成には以下の2種類あります。本製品は出荷時状態では、「RAID0(ストライピング)」モードに設定されています。このままご利用になる場合、以下の設定は必要はありません。

注意 RAIDモードの変更の際には、内蔵ボリュームがフォーマットされます。あらかじめ、別のハードディスクにバックアップしてからモードの変更を行ってください。弊社ではデータの保障は一切いたしません。

RAID1(ミラーリング)モード				RAID0(ストライピング)モード ※出荷時状態			
2台のハードディスクに同じデータを書き込むことにより、万が一、一方のハードディスクが故障した場合でも、ハードディスクを交換すればデータを復旧できるようにします。利用できるデータ領域は、全ディスク容量の1/2となりますが、安全性の高いモードです。				ハードディスク結合して、すべての領域をデータ領域として利用できます。このモードは保護機能を持っていませんので、万一台のハードディスクが故障した場合、すべてのデータが消失します。			
RAID 1	全ディスク容量	データ領域	保護領域	RAID 0	全ディスク容量	データ領域	保護領域
HDL2-G1.0	約1.0TB	約500GB	約500GB	HDL2-G1.0	約1.0TB	約1.0TB	なし
HDL2-G2.0	約2.0TB	約1.0TB	約1.0TB	HDL2-G2.0	約2.0TB	約2.0TB	なし

1 パソコンを起動し、添付DVDをセットします。

2 表示されたDVDアイコンを開き、[スタート画面.DMG]をダブルクリックします。

3 表示された画面内の[Magical Finder]アイコンをダブルクリックします。

4 自動で本製品が検索されます。[ブラウザ]ボタンをクリックします。

5 以下の画面が表示されます。何も入力せずに[ログオン]ボタンをクリックします。

6 本製品の設定画面が開きますので、[詳細設定]ボタンをクリックします。

7 設定画面が表示されます。[システム]タブの[ディスク]ボタンをクリックします。

8 プルダウンメニューから[RAID1 フォーマット]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

9 画面内の警告文を読み、問題がなければ[OK]ボタンをクリックします。これで、「RAIDモードの変更」は完了です。

困ったときには

「landisk-xxxxxx」が表示されない(見つからない)場合

原因 接続が正しく行われていない

本製品の電源が入っているか([STATUS]ランプが点灯しているか)、LANケーブルがLANポートに接続されているかを確認してください。(パソコンを接続しているLANポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)

原因 本製品と設定用パソコンのネットワークアドレスが合っていない

お使いのパソコンのIPアドレスが「192.168.1.xxx」に設定されている環境で、本製品のIPアドレスが「192.168.0.200」に設定されているなど、ネットワークアドレス(セグメント)が合っていないことが考えられます。本製品のIPアドレス設定をお使いのネットワーク環境にあわせてください。

原因 セキュリティ関連のソフトウェアが制限している

セキュリティ関連のソフトウェアを無効にするとかんくことができる場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

原因 landiskの名前で検索できない

IPアドレスを指定して、本製品にアクセスできるかお試しください。詳細は、本紙右の「IPアドレスを指定して本製品にアクセスする」をご覧ください。

DHCPサーバーがあるかどうかわからない

別紙[必ずお読みください]の「パソコンのIPアドレス」下「DHCPサーバーの確認方法」をご覧ください。

本製品のIPアドレスがわからない

確認 DHCPサーバーのリース情報をご確認ください

ネットワーク内のブロードバンドルーターなどのDHCPサーバーが本製品に割り当てたIPアドレスをご確認ください。ご使用のDHCPサーバー側にあるIPアドレスのリース情報が、本製品に割り当てたIPアドレスの情報を記録している場合があります。詳しくは、DHCPサーバーとなっている機器の取扱説明書などをご覧ください。

確認 添付ユーティリティからご確認ください

添付ユーティリティ「Magical Finder」で確認することができます。詳細は、本紙表面の「本製品を設定する(設定画面を開く)」をご覧ください。

ランプが正常に点灯しない

●[STATUS]ランプが赤色点滅したままの場合

→DHCPサーバーが正常に動作していることを確認して本製品の電源を入れ直してください。

DHCPサーバーを使用していない場合、または、DHCPサーバーを使用している環境でもランプが赤く点滅したままの場合は、表面「本製品の設定をする(設定画面を開く)」の「[STATUS]ランプが赤く点滅している」をご覧ください。DHCPサーバーがあるかどうかの確認方法は、別紙[必ずお読みください]の「DHCPサーバーの確認方法」をご覧ください。→LANケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。

●[STATUS]ランプが点灯しない場合

→電源ケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。

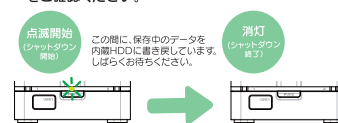
重要

電源を切るときは…

1 「ビッ」と音が鳴り、[STATUS]ランプ(緑色)が点滅するまで電源ボタンを押します。



2 シャットダウンを開始します。本製品前面のSTATUSランプ(緑色)をご確認ください。



3 シャットダウンが終了すると、自動的に電源が切れます。

IPアドレスを指定して本製品にアクセスする

本製品のIPアドレスが分かっている場合、本製品の共有フォルダにアクセスする方法として、本製品のIPアドレスを指定してアクセスすることもできます。

1 [移動]メニュー[サーバへ接続]をクリックします。

4 [disk]を選択し、[OK]をクリックします。

2 本製品に接続します。

※画面は、本製品のIPアドレスが「192.168.0.200」での例です。

[サーバへ接続]画面が表示されますので、以下を入力後、[接続]ボタンをクリックします。

atp://本製品のIPアドレス/

3 [ゲスト]を選択し、[接続]をクリックします。

5 デスクトップ上に本製品の共有フォルダ([disk])がマウントされます。

正常にアイコンが表示されしたら、本製品をネットワークのフォルダとして使用できます。

デジカメの内容をコピーする(デジカメコピー機能)

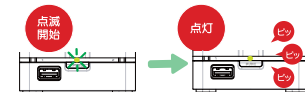
本製品前面の[FUNC]ボタンで、本製品前面のUSBポート1に接続したデジカメの内容を、簡単に本製品の内蔵ボリュームにコピーすることができます。次の例では、内蔵ボリューム内の[disk]フォルダに、USBポート1に接続したデジカメの内容をコピーする場合を説明しています。

1 前面のUSBポート1にデジカメを接続します。[STATUS]ランプが緑点滅し、しばらくすると緑色に点灯することを確認します。

2 [FUNC]ボタンを「ビッ」と音が鳴るまで押します。

3 コピー中は、STATUSランプが緑点滅します。「ビッビッビッ」と鳴り、点滅が点灯に変わったらコピー完了です。

4 デジカメを、USBポートから取り外します。



コピーしたデータは、コピー先(出荷時は内蔵ボリューム内の[disk]フォルダ)の下に自動で作成される「デジカメコピー」フォルダに、保存されます。

その他の使い方

次のようなことをしたい場合は、添付DVD内の画面で見るマニュアルをご覧ください。

- 共有を作成したり、アクセス権を設定する
- iTunesサーバー機能を利用する
- 出荷時設定に戻す
- その他、疑問やトラブルがあった場合

【画面で見るマニュアル】の見かた

- 1 添付DVDをパソコンにセットします。
- 2 表示されたDVDのアイコンを開き、表示された画面内の「画面で見るマニュアル」をダブルクリックします。

※PDFファイルを見るには、ご利用のパソコンにAcrobat Readerがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、Adobe社のホームページよりAcrobat Readerを入手してください。

デジタルライフの夢を拓ける
株式会社 **アイ・オー・データ機器**

本サイトセンター：〒920-8513 石川県金沢市板橋町2-118-4 4階
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
Copyright © 2008 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.

